

教育研究業績書

2020年10月27日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：上田 記子

研究分野	研究内容のキーワード
基礎看護学	思考、暗黙知、教育
学位	最終学歴
修士（看護学）	大阪大学大学院医学系研究科博士前期課程 修了 大阪大学大学院医学系研究科博士後期課程 在学中

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

1 教育方法の実践例		
1. 臨地実習に関する事前指導	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」において、実践した。具体的には、学生に対して事前に実習先病院や病棟、看護の特徴を伝え、実習に行くにあたっての学生の心構えを指導した。これによって、学生は臨地実習時に過度な緊張感を抱くことなく学ぶことができ、実習目的を達成することができた。特に基礎看護学実習は学生にとって初めての臨地実習であり、このような事前の指導は効果的であった。
2. 学生の看護技術習得のための自己学習へのサポート	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」の担当単元において実践した。学生は看護技術を習得するために、学内実習室での自己学習を行なっている。学生が自己学習をより効果的にできるように、学内実習室の学習環境を整えた。また、学生の自己学習時にも適宜実習室に入って技術指導を行い、自己学習をサポートした。
3. 講義の工夫	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」の担当単元において実践した。具体的には、講義スライドには教科書に掲載されていない写真やイラストを活用し、学生が視覚的にも理解しやすくなるように工夫した。また、自身の看護師経験談を語ることで、学生の学習意欲を高めることができた。
4. 臨地実習指導者と教員の指導体制の構築	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」において、実践した。臨地実習指導者とは事前に指導内容の打ち合わせを実施しているが、実習中も積極的に臨地実習指導者と各学生の学習状況を共有し、それぞれの学生に対する指導内容を議論した。1週間又は2週間の臨地実習期間中の各学生の学習達成スピードが異なることを踏まえ、このように臨地実習指導者との指導体制を構築することで教育効果を高めることができた。

2 作成した教科書、教材		

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 看護学部学生委員	2017年4月～現在	看護学部学生委員として、学生の体育祭応援合戦の練習のサポートを行なった。
2. 看護学部国家試験対策ワーキングメンバー	2016年4月～2017年3月	看護学部国家試験対策ワーキングメンバーとして、他大学の国家試験対策に関する調査や学科内国家試験対策勉強会、学内模擬試験運営等を行なった。
3. 朝小サマースクール2016 in 武庫川女子大学	2015年8月	小学生低学年を対象に、手洗いの必要性と方法をわかりやすく教えた。
4. 看護学部広報委員	2015年4月～2017年3月	看護学部広報業務を行なった。具体的にはパンフレットの作成や学科オリジナル文房具の作成、オープンキャンパスの運営等を行なった。

4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要

1 資格、免許		
1. 呼吸療法認定士	2010年1月(2020年1月更新)	
2. 看護師免許	2006年3月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 院内勉強会の実施	2007年4月～2010年3月	国立循環器病センター（現国立循環器病研究センター）で看護師として在職していた際に、新人看護師や他病棟

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
2. 実習学生への講義	2007年	の看護師を対象に、ICU看護師として心肺補助装置や心臓血管外科手術等の看護に関する勉強会を実施した。その際の資料なども作成した。
3. 小学校教諭を対象としたBLS講習	2007年	国立循環器病センター（現国立循環器病研究センター）で看護師として在職していた際に、看護実習学生を対象に心臓血管外科看護の特徴に関する講義を行なった。 国立循環器病センター（現国立循環器病研究センター）で看護師として在職していた際に、近隣小学校教諭を対象としたBLS講習のスタッフを務めた。
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 開胸術後患者の歩行支援台車使用下歩行の安全性・安楽性の検討	単	2014年3月	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	開胸術後患者を対象に歩行支援台車(以下台車)を製作した。台車と従来使用の点滴スタンドでの安全性・安楽性を力学的に検討した結果、患者の離床段階に応じた離床器具の選択が必要であることが示唆された。
3 学術論文				
1. Analysis of upper-limb movements to open glass ampoules and training methods in nursing education	共	2019年8月	Journal of Biomechanical Science and Engineering (JBSE)	Masako Hirano, Atsue ISHII, Noriko UEDA, Yoshiaki INOUE, Masako MIYAJIMA, Kohei TOMITA, Yoshitaka NAKANISHI, Shima OKADA, Yaemi KOSHINO and Taketoshi MARUI, (in press), (proceedingsあり)
2. 温熱作用に関して手浴が全身浴の代用となる可能性の検証-表皮 膚温の変化および温度感覚・快適 感覚から-「原著論文(査読付)	共	2019年3月20日	武庫川女子大学看護学ジャーナル, 4, pp. 13-23, 2019. 3	山口晴美、阿曾洋子、田丸朋子、片山恵、清水佐知子、岩崎幸恵、上田記子

その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. ベッドサイドにおける行動から見た経験年数による看護の差に関する検討	共	2018年8月	第22回日本看護管理学会学術集会抄録集	長谷川 有里、石井 豊恵、上田記子、三谷 理恵、伊藤 朗子、平野 方子、越村 利恵、谷浦 葉子、谷川 茜
2. Comparison of the caring behavior of nurses depending on clinical experience: what do nurses think when caring for patients?	共	2017年3月	The 8th International Multi-Conference on Complexity, Informatics and Cybernetics: ICMCIC 2017	Atsue ISHII; Noriko UEDA; Yoshiaki INOUE; Masako HIRANO; Akane TANIGAWA; Naoko HORII; Rieko SHIODE; Ko JYO; Rie MITANI; Yoko TANIURA
3. 看護診断決定に関連した看護師の思考・行動・感情傾向と課題意識に対する改善策の検討	共	2016年8月	第42回日本看護研究学会学術集会	山口晴美 久米弥寿子 上田記子 阿曾洋子 片山恵
4. 仮想フィールドにおいて看護師が援助する際の視線・行動・動線の新人看護師と熟練看護師の比較-情報の取り込みに着目して-	共	2016年7月	第17回日本医療情報学会看護学術大会	上田記子 石井豊恵 平野方子 井上文彰 蔭田奈津子 中野瑤子 徐紅 谷浦葉子 堀井菜緒子 谷川茜 塩出理恵子
5. 看護診断を決定する過程における看護師の思考・行動傾向の臨床経験年数による特徴	共	2016年12月	第36回日本看護科学学会学術集会	上田記子 久米弥寿子 山口晴美 富澤理恵 片山恵
6. How about the Safety and Comfort for Ambulation of Post-thoracotomy Patients? A Story Of The Trolley For Patients	共	2015年9月	Japan-the Netherlands Symposium on Soft-Tribology	Atsue ISHII; Noriko UEDA; Masako HIRANO; Kohei TOMITA; Yoshitaka NAKANISHI; Yoshiaki INOUE; Rie NAKAGAWA; Chisato YANAGAWA; Yasuaki MATSUMOTO; Tsuyoshi BABA; Masashi INOUE
7. 看護診断事例検討会における診断候補と疑問点の傾向に基づく看護診断研修における教育的サポートのあり方の検討	共	2015年8月	第41回日本看護研究学会学術集会	久米弥寿子 上田記子 山口晴美 阿曾洋子
8. 看護師が看護の対象に援助する際の思考過程の検討	共	2015年12月	第35回日本看護科学学会学術集会	上田記子 石井豊恵 谷浦葉子 堀井菜緒子 谷川茜 塩出理恵子
9. 看護診断決定に関連した看護師の経験内容や課題意識に基づくサポート体制の検討	共	2015年12月	第35回日本看護科学学会学術集会	久米 弥寿子、阿曾 洋子、片山 恵、上田 記子、谷口 千夏、山口 晴美

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
10. 開胸術後患者の歩行支援台車使用下歩行の安全性・安楽性の検討	共	2014年10月	第2回看護理工学会学術集会	上田記子 石井豊恵 平野方子 富田耕平 柳川千里 中川里恵 中西義孝 松本保朗 山川誠 馬場剛之
11. 心臓血管外科術後の低圧持続吸引器使用下での歩行の安全性と安楽性の検討	共	2013年9月	第10回日本循環器看護学会学術集会	平田(上田)記子 石井豊恵 中川里恵 富田耕平 平野方子 中西義孝 山川誠 馬場剛之
12. 熟達者のアンブルカット動作の比較	共	2013年9月	生体医工学シンポジウム2013	平野方子 石井豊恵 中西義孝 平田(上田)記子 富田耕平 越野八重美 松本保朗 永村和真 圓井健敏
13. 包帯装着時の圧力分布の変化	共	2013年9月	日本看護技術学会第12回学術集会	富田耕平 石井豊恵 平野方子 平田(上田)記子 中西義孝
14. Measurement of Force Exerted by a Postoperative Cardiovascular Surgery Patient Pushing a Trolley	共	2013年7月	IEEE EMBC2013	Noriko HIRATA(UEDA) ; Atsue ISHII ; Kohei TOMITA ; Masako HIRANO ; Yoshitaka NAKANISHI ; Yasuaki MATSUMOTO ; Makoto YAMAKAWA ; Tsuyoshi BABA
15. 一般病棟と外来化学療法室の看護業務における協働業務の実態と特徴	共	2013年7月	第14回日本医療情報学会看護学術大会	平田(上田)記子 石井豊恵 富田耕平 平野方子 横内光子 大野ゆう子 清水佐知子 東村昌代 内田宣江
16. The effect of the Bandage with Graduations to Keep the Tension	共	2013年7月	IEEE EMBC2013	Kohei TOMITA ; Atsue ISHII ; Masako HIRANO ; Noriko HIRATA(UEDA) ; Yoshitaka NAKANISHI ; Yasuaki MATSUMOTO ; Daisuke TSUJINAKA ; Koichi OKAMOTO
17. Analysis of Upper Limb Trajectories in Ampoule Opening	共	2013年7月	IEEE EMBC2013	Masako HIRANO ; Atsue ISHII ; Kohei TOMITA ; Noriko HIRATA(UEDA) ; Yoshitaka NAKANISHI ; Yasuaki MATSUMOTO ; Kazuma NAGAMURA ; Yaemi KOSHINO
18. Understanding the characteristics of collaboration work in the nursing activities: A time and motion study	共	2013年10月	the first international conference on serviceology	Noriko HIRATA(UEDA) ; Atsue ISHII ; Kohei TOMITA ; Masako HIRANO ; Mitsuko YOKOUCHI ; Yuko OHNO ; Sachiko SHIMIZU ; Akiyo HIGASHIMURA ; Nobue UCHIDA
19. 心臓リハビリテーションにおける看護アプローチ	共	2012年9月	第9回日本循環器看護学会学術集会	平田(上田)記子 大原まゆみ 石井豊恵
20. モーションキャプチャシステムを用いたアンブルカットの動作分析の試み	共	2012年9月	第20回看護人間工学部会研究発表会	平野方子 石井豊恵 中西義孝 富田耕平 平田(上田)記子 越野八重美 松本保朗 永村和真 圓井健敏
21. 先天性心疾患術後乳児の覚醒状態の変化に関する記録内容の現状調査	共	2010年7月	第46回日本小児循環器学会	原田愛子 貞永千佳生 平田(上田)記子 藤原恵子
22. 心臓血管外科術後急性期における安全・安楽なベッド移動の手順化	共	2008年2月	第35回日本集中治療医学会学術集会	浅賀美月 貞永千佳生 原田愛子 平田(上田)記子 藤原恵子
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 擬似共体験による熟練看護師の思考構造の可視化	単	2020年4月～現在	日本学術振興会	令和2年度科学研究費（若手研究19K19552）
2. 汚染除去可視化による清潔のセルフケア能力アセスメントツールの開発	共	2019年4月～現在	日本学術振興会	令和元年度 科学研究費（基盤研究C：19K10817） 分担研究者 （代表：片山恵一-武庫川女子大学）
3. 看護過程・看護診断過程に関連するメディア・内容・送り手分析に基づく看護教育の検討	共	2015年～2016年	日本学術振興会	平成27年度 科学研究費（基盤研究C：15K11537）分担研究者（代表：久米弥寿子-武庫川女子大学）
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			
1. 2016年9月	第15回日本アディクション看護学会学術集会 実行協力員			